

令和6年10月17日公表

令和6年度 第1回八王子支社入札監視委員会定例会議議事録

開催日及び場所	令和 6年 8月 6日 (火) 中日本高速道路株式会社 八王子支社 会議室	
出席委員 (敬称略。 委員について は、 50音順。)	委員長：角田 淳 (弁護士) 委 員：藤井 浩司 (早稲田大学 政治経済学術院 教授) 村越 潤 (東京都立大学大学院 都市環境科学研究科 教授) 吉田 純司 (山梨大学 工学部 准教授)	
審議対象期間	令和 5年10月 1日～令和 6年 3月31日	
抽出案件	総件数 5件	(備考)
工事 (一般競争入札)	2件	
工事 (特命契約)	1件	
調査等 (指名競争入札)	1件	
物品・役務(一般競争入札)	1件	
	意見・質問	回答
委員からの意見・質問、そ れに対する回答等	(別紙のとおり)	(別紙のとおり)
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	今回審議に付されたものについて、適正であることを確認した。	

1. 入札・契約手続きの運用状況等の報告及び審議 本社契約審査部からの報告及び審議	
意見・質問	回 答
<p>1者入札の発生が交通情報設備工事と橋梁補修工事で多いことについて、一般的に新しいシステムを導入する際にそのシステムについて成熟している、あるいはその技術が完成している事業者に入札が偏るのは避けられないことではあるものの、ベンダーロックインの傾向が顕著に見受けられると思うが如何か。競争性をより担保していくためにも、1者入札は、システム運用等によりかなりロックインされてしまうことがあるので、慎重に行ったほうがいい。</p> <p>低入札と不調については、競争性の担保と適正な価格設定の両面から度々議論になる中で、橋梁補修や道路付属物はこれまでも多い傾向である。競争性の担保と適正な価格設定についてはどちらも重要なことであるため、この点についての今後の対応、課題について伺いたい。</p> <p>工事と調査等の不調発生状況という棒グラフがあるが、工事では橋梁補修の不調発生件数が年々減っている。前回の定例会議で聞いた際、維持管理上重要な工事でその割に条件が厳しい工事だからなかなか参加してもらえないで、参加してもらえるように色々工夫をしているという説明を受けた記憶があるが、その成果として不調が減ってきたと思うが、調査等の橋梁設計は如何か。一昨年ぐらいはとても多いが、2022年度と2023年度は劇的に減っている。何か対策を行ったのか。</p> <p>橋梁補修はかなり難しい工事であるため不調や1者入札になるため、とても難しい問題だと感じた。そこで評価させていただきたいのは、指名競争入札の公募併用型をかなり取り入れて競争性を保っており、そういう結果が出ているように思う。</p>	<p>一般論での答えになりますが、専門性の高い工事ほど1者入札の発生の可能性が高まることがあります。ベンダーロックインの問題に関しては、いわゆるブラックボックスの部分を極力作らないような仕様設定とするなどの対策を探っています。全体的な競争性を高める努力を継続するとともに、1者入札の発生状況について、引き続き注視してまいりたいと考えています。</p> <p>適切な施工計画を立案し、適切な設計図書・仕様書を作成するという発注者としての基本的な事項について今一度原点に立ち返ってしっかりと対策を行い、多くの方に入札に参加いただき、適正な競争を担保し、適正な価格で契約するということを目指していきたいと思っています。</p> <p>橋梁設計については、発注件数自体が全体の件数で、昨年から40件ほど減っているということが事実としてあり、非常に大きい要因と考えています。併せて、工事の橋梁補修の対策についても、各支社で取り組んでいるのですが、年々業界団体とも意見交換を行い、要望に応えるような設計図書を作っている成果が現れた結果、件数が昨年度はかなり減ってきている要因と考えています。</p>

<p>変更契約の状況について、変更しない契約はあるのか。</p>	<p>ほとんどの契約において何らかの変更が生じています。</p>
<p>変更契約後にマイナスになっているとは何を意味しているのか。</p>	<p>発注した目的物が工事不要になり、結果的に減額になったというものです。</p>
<p>工事が縮小されたというイメージか。工事が予想より楽で早く終わったから、金額はそんなに払わなくていいので、安くなったという意味ではないのか。</p>	<p>実際にあった例として、設計図書と現地条件の不一致等の理由によって一部の工事を中止し、また、見積協議方式を採用した契約案件において、工事完成時の精算において減額となつたものもあります。</p>
<p>見積協議方式でよく出てくるもので、とりあえずその金額でやるけれども、現地を見て変更する・減額する・減らすことは契約書に書いてあるのか。</p>	<p>契約書・指示書・特記仕様書に記載されています。</p>
<p>調査等業務の変更契約の状況について、2023年度の八王子支社の変更率が顕著に低い状況で他支社と違う傾向であるが、何か取り組んだのか。</p>	<p>当初発注の際にしっかりと吟味して発注し、比較的変更の無い形のまま調査等業務を終えることができたものと理解しています。</p>
<p>変更契約の状況は全体像が分かるが、金額の乖離を解消する、適正化するために今後どのように反映していくか。個々の具体的なところから情報を集めていくのか。</p>	<p>八王子支社の2023年度は全体で14件、2022年度は50件ということで、調査等業務は減っています。その中で特徴的なものが橋梁設計で、2022年度は14件完了していて、比較的高い変更率になっています。これが2023年度になると、完了した業務が0件ということで、このところが大きく数字に表れていると考えています。</p>
<p>個別で見ると増加率が大きいのがあるが、当然ながらそれは全てチェックしていて、全体的なところで差が大きくならないようにしていかなければいけないという認識でいいか。</p>	<p>今回は全体の傾向を示させていただいたが、下半期定期会議においては、抽出していただいた個別の案件について、変更契約の状況について事務局で確認させていただき、その確認結果を報告させていただきます。入札という入り口部分だけでなく、その途中や出口の部分である契約変更の状況についてもご意見いただきたいと考えています。</p>
	<p>全体として変更率の平均が上がってきてている傾向にあります。個別の事情は様々ではありますが、本来別途発注しなければならないようなものが追加されていないかなどについて検証し、変更</p>

	の適正性を含め全体として適切な契約となるよう引き続き努めてまいります。
--	-------------------------------------

2. 入札・契約手続きの運用状況等の報告	
意見・質問	回答
報告内容について意見等なし。	

3. 抽出案件の審議	
(1) 工事(一般競争入札:総合評価落札方式(施工技術競争型)・見積協議方式(見積協議後成立)・WTO対象)	
工事名:中央自動車道(特定更新等)花岡第二高架橋床版取替工事	
意見・質問	回答
技術提案評価項目の「①」「②」においてA者・B者は同一点数であるが、C者のみ点数が異なる根拠を説明いただきたい。	「①」については、構造的なものに対する信頼性という観点から、A者・B者は施工実績が無いが、C者は施工実績があったためである。 「②」については、基本契約となるため、1回目の個別契約と2回目の個別契約があるが、「2回目の個別契約にて品質向上や技術的なノウハウを伝承し、より良いものを造っていく体制はどのように考えているのか」の提案を求めた結果、A者・B者は「同じ技術者を配置する」という一般的な回答に対し、C者は「店社と本社をかけて技術検討会議を行っていく。また、床版取替工事については当社のノウハウを含めて現場の体制を支援していく」という具体的な説明があったため、評価が高くなっています。
評価結果について、なぜ点数に差がついたのか点数だけでは理解し難いため、資料の形でいただきたい。	承知しました。
入札状況調書にて「総合評価点」の計算方法をご説明いただきたい。	入札公告の「(8) 落札者決定方法」に記載されています。
計算式は理解できたが、入札状況調書に記載の総合評価点は計算式が合っていないような気がするので、その点をご説明いただきたい。	技術評価点と価格評価点の内容に誤りはありませんでしたが、総合評価点について一部合っていないものがありました。
見積協議結果概要について、契約制限価格と見積価格にかなり開差が見られたが、特に「2:P C	工事規模の割には項目が少ない状況であり、単位量が少ないという結果が見積に反映されて

「鋼材引張」について、積算額と見積額に約4倍もの差が出ている理由を説明いただきたい。	います。
引張ということは材料費・施工費も含めての状況ということか。	そのとおりです。
見積金額4倍も差が出るものなのか。	材料費はそこまで変わらないが、施工する日数が例えば4日でできるという想定に対し、実際には2週間かかる概念の違いだと思います。
P C鋼材の場合は時間がかかるということか。	床版を分割した後、最後に結合する内容であり、結合の仕方若しくは施工のやり方、またどのくらいの期間で施工するかというところも違っているところかと思います。
P C鋼材を引っ張る作業と本数自体は変わらなくとも金額が4倍になるのか。	引っ張る機械の回数や動いている時間だけの金額を想定していたが、実際には1日当たりいくら引っ張っても引っ張らなくてもというところの差が出てきていると思います。
工事の進め方によって機械は常に必要だが、1月中引っ張り続けているわけではない。ただし、その分借りているリース量が4倍になったということか。	そのとおりです。

(2) 工事（一般競争入札：総合評価落札方式（技術提案評価型）・見積協議方式・低入札価格調査）

工事名：安房峠道路 遠方監視制御設備更新工事

意見・質問	回答
一般競争入札の結果、入札者は1者となっているのはどういう状況か。	本工事については、他にも施工可能な会社は存在するため、今回応札された会社でしかできないというものではありません。

(3) 工事（特命契約：防災型発注方式）

工事名：中央自動車道 左入橋他1橋橋梁補修工事（2023年度）

意見・質問	回答
前回の定例会議において2018年に変状を発見し補修をしようとしたが中々受注してもらえず2023年に緊急を要する判定になり、防災型発注方式で発注したものが当該業務だったか。	別の案件です。
2018年にA1判定だった時に補修の工事は行っていないのか。	行っていません。

(4) 調査等（指名競争入札：不落特命対象（不落特命協議後成立））	
調査等名：中央自動車道（特定更新等） 茅野高架橋床版改良基本設計	
意見・質問	回 答
特命契約の意向確認先の決定において、順位付けをしているが総合点数が同点の場合、どのように順番を付けているのか。	技術資格保有者の人数が多い順です。
(5) 物品・役務（一般競争入札：WTO対象 セリ下げ方式）	
物品・役務名：八王子支社 法令違反車両取締用マイクロバス購入	
意見・質問	回 答
報告内容について意見等なし。	

【補足説明及びその他改善検討指示事項等】	
意見・質問	回 答
<p>個別案件について、指摘するような事項はない。コメントとして、NEXCO全体の工事内容、あるいは契約内容のご説明をいただいたことが非常に有意だった。こうした情報が、個別案件を審査するにおいてどのような位置付けかということが理解できるようになった。</p> <p>入札不調等の問題に関しては、市場での調達が困難なものなどについて子会社を作つて内製化するなどの取組を検討されているということは分かった。引き続き契約の適正化、あるいは経営の効率化・適正化を図っていただきたい。</p>	